

平成20年度水道モニターレポート

No. 1

(水道事業概要説明会 7/18)

平成21年5月7日

概要説明会に出席しての感想は下記 3 項目である。

1. 安心・安全な水であること

まず安心・安全な水作りに努力されている事が良く分かった。水質管理は日夜の努力があつてのことと思うが、何か事故でもあれば大変な事になるので気苦労が多いと思う。

近年多発している地震や風水害で上下水道施設が破損すると、如何に水が大切か分かる。

井戸水生活をしていた昔、夏の湯水時には井戸水が涸れて苦労したことを説明会で思い出した。

2. 現時点では水不足の心配がないこと

上記について新潟市では信濃川、阿賀野川両水系で水量としては心配ないとの事だが、世界の文化は水で始まったとのこと。

阿賀野川水系の水源地は福島県につき水利権は関東圏と取り合いになっているのではないかと、水利権の確保は新潟県含め死守すべきである。

最近、関東圏で水不足と騒いではいないが、地球温暖化が進むにつれて、水不足になると推測する。

3. 水の使用量が横ばいか減少傾向であること

水道水の使用量が減少しているとの事だが、自動販売機で購入している飲料水等を合計すれば増加しているのではなかろうか。自動販売機で売られている飲料水は各種あり、ミネラル入りなどのキャッチフレーズで海外より輸入しているのもあると聞いている。

それでは、使用量を増やすにはどうすればよいか。

新潟県は水資源が豊富との事であるから、飲料水関係の企業をもっと誘致してはどうだろうか。

ジュースにしても 100%の果汁はトマトジュースだけだと聞いている。その他のジュース関係は水を添加している筈。

飲料水関係企業が進出するには、どのような条件が必要なのか調査しアプローチしてみてもどうか。

一般家庭で使用量増やすには最近の経済成長からみて厳しいと考える。一般企業では将来性がなければ切り捨てられる。

新潟の川の水量として余裕があるならば、説明会の席上配られた「柳都物語」を販売できないか、規制があるなら規制緩和を諸官庁に打診することも必要ではないか。飲料水関係の企業と合併することも視野に入れて。

「柳都物語」は非常用としているなら、保管期限がくれば廃棄処分する事になり、廃棄するだけでも水道局の負担も大きいのではないかと。

廃棄期限が近くになったら販売するなり、夏場の市街地の打ち水に使うように、町内会に安く販売するならば問題ないし温暖化防止の一役になると思う。又、ペットボトルそのものの回収も容易になると思う。

一番驚いたのは、独立している一企業だったということ。市の税金を使っていて、税金の無駄使いをしていると思っていた。

小学校について

確かに今、学校は土・日・祝日が休みで水道は使われていない。

月曜日、長い休み明けの水を子供達が飲んでいる。

学校は直結給水方式だと思っていたが、貯水槽方式だということで体に害はないのか心配になる。春夏冬休みの間はいったいどうなっているのだろうか？水はなくてはならない。子供達が心配です。子供が学校で飲むのは水だけだ。特に夏の今。一日も早く、直結給水にしてほしい。

平成 18 年度、有収率比較で新潟市は 5 位。確かに上位ですごいことだとは思ふ。でも、私としては 5 位では満足できない。もっと努力して 1 位になってほしい。

水道料金を払う立場から言わせてもらおうと安ければ安いほど嬉しい。どうしたら節水し使う量を減らせるかと考える。

また道路下に埋まっている水道管を一度見てみたい。

今、いろいろなものが値上がりしているが、水道料金は値上がりすることはないか、心配である。

水道事業の概要を知ることが出来、水の使用量が減っていることなど気がつかないことを知り得ることが出来た。個人的には水の使用量が減っていることは良いことと考える。水道料金の他の都市との比較も理解できたが収支面での他の都市との比較があれば資料が生きてくるのではと思った。

マスタープラン等の大変ゴージャス（航空写真入り）な資料はやめて、シンプル（ベーシック）な資料で経費を有効利用されたらと考える。（資料は紙質ではなく中身で他の都市と勝負！されることを望む）

モニターへの対応職員は係長様ほか計 3 名で対応され、経営企画室長様等はトップセールスで韓国・中国等への日本の代表的な大河（信濃、阿賀）からの水をタンカーで販売に出向く等、高所での経営企画的なお仕事の対応を望む。

経営企画室長様のモニター対象の内向きのプレゼンは大変“もったいない”モニター対応は係長様で十分と思う！

最後に本日いただいた柳都をデザインしたペットボトルは市民対象に販売したらと考える。例えば¥2,000-前後を1セットにされて希望者に販売することで災害時の備蓄量の削減、並びに備蓄費用を稼ぐ等前向きな考えを進めることを望むし、ボトルのデザイン料も稼がない大河での美味しい“水”を放置している手はないと考える。

「水道モニター」制度が初めて設けられ、その 1 回目であることを知り驚いた。応募者が 95 名あり内 25 名が選ばれたそうで、責任重大で身が引き締まる思いである。

水道事業中長期（平成 19～26年度）経営計画を立て80万都市として安心しておいしい水を供給出来るように日々努力していることを知った。

国際貢献としてハルビン市との技術交流など興味をもって知った。

水にも結晶があることを知った。川の上流のきれいな水は雪の結晶のようにきれいだが、汚い川の水はヘドロのように油ぎって結晶は見られない。新潟市の水道水はどんな結晶か出来たら見たいものだ。

説明会に参加して

今まで水道水がどの様にはじまり、どの様な工夫されていたか？考える事なく過ごしてきた。新潟の水道という学校向けの本で昔の水道水の始まりを知る事が出来て、何か、ホットした感じがした。

私は新発田市に生まれ、現在は新潟に住んでいる。

ずーと思っている事が1つある。私の気のせいかもしれないが、新発田市の水は冷たく、カルキ臭さをあまり感じない。いつもその事が心の中にひっかかっている。説明会でペットボトルと水道水の違いを始めて知った。違いは分かったが、わき水は衛生面で本当に大丈夫なのか。ペットボトルの水は、本当にカルキを一切入れていないのか？

とても、疑問に思う。新潟の近辺でわき水を汲みに行くという人が、私の周りにいるが、私は今一不信感が強く、飲む気が起こらない。

水はカルキ臭くとも安全・安心をとりたいと思っている。新潟と新発田市では、やはり水の質が違うのか？

料金も、今まで請求がくるままに支払っていた。しかし料金も県によって全然違う事は理解していたつもりだったが、順位が2番目、3番目だという事を詳しく知り、水道局のみなさんが一生懸命に努力している姿が目につく。

私も主婦の立場から、水を少しでも汚さない。それには、どの様にすればよいかと思い、簡単な事でみなさんがやっていることと思うが、食器を洗う時、ペーパーでひとふきしている。

新潟日報の家庭欄で水の節約方法がのっていた事があった。少しでも水に関して関心を持てる様に、時々水について新聞に載せたらいいと思う。（簡単に子供でも分かる様に）

モニター第1回に出席して説明を聞いて『へ～』『なるほど』ばかり、小学生用の冊子でも知らない事柄がたくさん記されており、自分が井の中の蛙であると教えられた。

今後は、蛙も井ではなく水道の時代突入である。

知って知って知り尽くすまではなれないが自分たちの生活に必要な水道ですから一知識として身に付け、モニターとしての役目を勤めたい。

今までの自分は、人間が生活する中で水は最も重要なもののひとつに挙げられると考えたことはあるが、その水の事は30年程生きてきて殆ど考えたことは

ない。

それは、物心ついたときから蛇口をひねれば水が出ることがあたりまえとした概念があるためだろう。

しかし、蛇口をひねっても水が出ないと仮定し現代生活を考える。

洗顔歯磨き、炊事洗濯、トイレに入浴。どれもこれも水を必要とするが幸い新潟市には大河が2本もあるので、この分を川から汲んできますか！雨水貯めますか！

この量を川から汲むには仕事している暇はない・・・この量の雨水を貯めるにはデカタンクを置く土地が必要だがそんな所もない・・・

こうなったら井戸を掘りそれを充てましょうか！

この辺は鉄分多いんでその水使ったら洗濯機や風呂釜はすぐ壊れるな・・・

更に、すべてにおいて飲料水にするには清浄が必要になってくる。

こんな事態では未だに原始的な暮らしをしていたらろう。

そんなことをしている場合ではないと考えがあつてのことか？

日本では約120年前から、新潟市では約100年前から水道配水に取り組んできたと知った。

新潟市で、浄水場11施設に配水場16施設となり現在に至り、生活していく上で重要な水の確保の手間隙が、ただ蛇口をひねれば水が出る事があたりまえの時代となった。

水道設備が充実していく程に日本が成長してきたといっても言い過ぎではない。

こう考えると＝水道って凄いですね！あたりまえって考えたら罰があたります。これからは、設備的には充実したので、あたりまえ改め快適生活が送れる様に設備のメンテナンスをしなければならぬが、この点についても大いに知ることができた。

日本人は、ハードに投資は惜しまないがソフトには投資を渋る人種だと聞いたことがある。

自分も日本人であるのでしっかり当てはまりこんな経験がある。水道管工事の交通摩擦で憤る！

しかし、それを怠ることにより施設老朽による安定給水の低下や、この数年間で2回も県内で起こった大震災の耐震化への遅れで快適生活に不安が起る事を防ぐ為に行っていることである事を理解せずにはいた。

どの設備をどうメンテナンスすべきなのかはマスタープランでの説明を受けたが、この説明を受けるまではまったく知らなかったのも他多数の市民も知らないと思われる。

逆に知っていただくためにはアピールが足りないとも感じ受けた。

口径、使用量の段階で変わる料金体系すら知らなかったのではなおさらだ。

最近、面倒な事柄もゆる～くすることにより受け止められやすくなる傾向があるようだ。新潟市のごみ分別はとても手間のかかる事と感じたが、緩キャ

ラ『サイチョ』登場で判り易くアピールしてもらうことで広く市民に浸透したようなので、新潟市水道局マスコット『水太郎』にも一肌脱いでもらってはいかがか？

今日水道モニター委嘱式に出席し色々なお話を聞いた。水道局は水道料金から給料が出ている独立採算制なんですね。

「新潟市水道事業管理者」が TOP で「新潟市水道局長」はいないのか。田舎の役場はどうなっているのか。

水道事業の概要説明を受け、「飲み水のできるまで」を知った。

家は転勤族で、新潟に来る前は東京都狛江市に住んでいた。近くに「浄水場」があり、四角いプールのようなものがたくさん並んでいるところがあったのだが、あれがどういう設備だったのか、納得した。

そういえば、すぐ近くの多摩川には「取水塔」らしきものもあったと思いだした。

それから、水道局が「独立採算制」だと、これも初めて知った。かなり驚いた。反面、疑問がわいた。ならばなぜ「節水」を呼びかけるのか？という事だ。これは「電気会社が節電を呼びかける」と同じ理由なのだと、「にいがたの水道」の20ページの説明を読んで分かったが、ちょっとややこしい。一瞬、戸惑う。

新潟の水道料金が安いというのも、初めて知った。アンケートにも書いたが、引っ越してきたときマンションの管理人さんが「新潟は水道代が高いよ」と言っていたので、ずっと高いと思っていた。

その水道代だが「供給単価」と「家事用」料金が違うのはなぜか？

私の出身地の「静岡」は「供給単価」は1位だが、「家事用」は5位である。よくわからなかった。

マンションと言え、貯水槽でなく、増圧ポンプにすれば衛生的により良いということで、私のマンションがどうなのか、管理人さんに聞いてみたいと思う。

それから「塩素が入っていないと水道水とはよばない」とのことだが、塩素は体に悪いのか？浄水器のメーカーのパンフレットなどを読むと「塩素の入った水道水を飲んでいると、体によくない」といった記述がよく見られる。これは本当か？

それから、「朝はバケツ一杯分の水を出してから使うことが大切」だと思っていた。水道管の中などに水がたまっただまになっているので、良くないと思っていた。

お話の中で「学校が週休2日制になった。そのため月曜日には2日間動かなかった水を飲むことになる。その水がまずいので、子供たちが飲まなくなった。」ということがあった。

2日間動かなかった水を飲んだとき、体に悪いという事はないのか？

新潟市の水源は信濃川とその支川そして阿賀野川を水源としている。

各々上流を考えると、信濃川は長野県の千曲川が新潟県に入って信濃川となり、阿賀野川は福島県の只見川・猪苗代湖等々を水源とし、新潟市は大きな大河に恵まれている。

流れる川の水が、そのまま生活水にはならない。色んな工程（道）を経て上水となる。

取水・浄化・配水となり各家庭や工場等へ送水され安心して生活水として、使用している。水は色んな形で作られた商品であると思う。

設備終了後に通水 一定期点検、補修—

水質検査等々多くの時間と労働力、経費を必要とするので、水の粗末、無駄使いには気をつけよう。

地球の水は一滴もこぼれていない。地球上を循環している。

そこに生息している動物、植物等すべての生物はその水を利用して生き、これからも生きつづけるのだ。

途中汚水となっても人工と自然の働きで浄化され、毎日の暮らしを支えている。

工場排水・生活雑廃水・その他汚水問題等に機械・配管等の問題が考えられる。丈夫である事は当然のことで、地震に耐えられるもの、弾力性の有るもの、効率の良い配管等の開発や工夫の必要があるのではないか。

小学生用冊子について

表紙の絵が楽しくページを開いて見たくなる。

目次から始まりわかりやすい絵やグラフ・表等とても見やすくなっていて、見ていると楽しいので覚えられる。知ることのできる冊子だと思う。

この冊子は毎年発行されるのでしょうか。

初日の今日は水道事業についての概略説明があり、「概略」とは言っても非常に勉強になることが多く、今後のモニター活動に期待が持てる内容だった。

もともと「水道料金は2ヶ月に1度の引き落とし・・・。」といった基本的なことも知らなかった私ですから、まあ何を聞いても勉強になることは間違いがないと思うが、次回からは現地視察が中心となり、ライフラインとしてはかなり重要度の高い飲料水のいろはを学ぶことができると思う。

本日一番の驚きは、水道局事業が独立採算制ということで、働く職員の立場は公務員とはいうものの、水道事業で利益を出さないとお給料も出なくなるとの話には、はっきり言って仰天した。私も環境問題を長くやっていますが、水道水の無駄使いをなくそうという運動にも、この間のCO2削減では相当力を入れてやってきたつもりだったが、当の本人達（水道局職員の方）は、やはり生活がかかっているのでは、無駄な水の削減にも力が入らないようにも思えた。

インセンティブの変容が求められる業界ではないかとしみじみ思う。どちらにしても、ハイテク器具の登場と普及で「節水」には弾みがついた状態かと思うが、生活がかかっている人がいると、素直には喜べない。

資料を読んだが、さまざまな目標と施策があり、すべて実行されれば優良な水道事業を展開できると思い感心した。

水道料金と下水道料金が高いと思っていたが、全国でも安い部類だとわかった。さらに安くしてほしいと思っている。

水道料金をクレジットカードでも支払いをしてもらえようをお願いしたい。公共料金でできないのは水道だけである。よろしくお願いします。

今回、水道モニターになり、水道事業概要の説明会に参加し思ったこと。

家庭で使われる水道の量が家庭以外で使われる量の2倍以上だとは知らなかった。なぜなら工場や外食産業などの方が多くの水を使っていると思っていたからだ。

新潟市内には数多くの水道施設があることがわかった。その数を計画的に統合するというのが本当に事故や自然災害に対して安心してよいのか心配だ。水道料金が新潟市になってから高くなったように思われるが、全国的に見ると高くはないのだと知った。

全国の水道水が同じ基準だということだが水源水質の保全や水質監視体制を強化してほしいと思う。塩素などの薬品を多く使うことなくおいしさの本市独自の基準をクリアして供給してほしいと思った。

新潟では中越と中越沖地震があり被害地では何日も水道水がなくトイレも使えず料理も作れなかったというが、もしも新潟市に地震が起きた場合に何日も水が使えないのは困る。

どこの配水管がこわれていて、どこまで水が来ているのかもわからない状態にならないように、配水管の耐震化を全市の配水管を強いものにかえてほしいと思った。同じ市民なのに災害時に水が使える人と使えない人がいるのはちょっと不平等感が感じられるからだ。鉛給水管の取り替えと耐震補強工事を推進してほしいと思う。

9月4日に見学を予定している信濃川浄水場、沈澱池上部に設置されているという太陽光発電システムや建設副産物を有効活用されているということや知らなかったことがわかって良かった。

毎月口座振替制度を希望すれば平成21年度から導入できるという話をはじめて聞き、毎月の徴収は嬉しい。

支払う金額は同じですが2月に1回より、預金の残額を確認し忘れなくてすむので助かる。

水は命の根源である。安心・安全は絶対条件だ。その水道の仕組みを学び、

水道局の皆様が日々たゆまざる努力をなさっているのを直接目にする事で一層の安心を得られれば、それを地域に還元できると考えている。

初回の「水道事業概要説明」を受けた感想と、現在水道に関して思っていることを書いてみる。全4回を終わるころにはその思いもかなり変わっていることだろう。

1. 浄水場の統廃合

統廃合は合併後の経済的運営には欠かせないことではあるが、いざ自分達のこととなるとちょっと心配になる。小須戸地区は現在小須戸浄水場からの配水だが、今後は満願寺浄水場からの配水になる。「おいしくなる」と言う人もいれば、「新潟水俣病が怖い」と言う人もいる。水道局側は当然「安全」というはずである。でも、これを私の勉強課題の一つとする。

2. 政令都市間での水道料金比較

初めて知ったことだが、新潟は供給単価が140.55円で16都市中の安い方から2位。30立方メートル使用の家事用では3,290円と3位。都市の規模にもよるとは思うが、安い部類に入っていることはありがたいことだ。説明によると、平成21年度から1ヶ月単位での支払いに切り替え、検針は隔月、支払いはそれを半分にした月払いとの事。検針については隔月はもちろんのこと、あるいはもっと間をおいても良いのではないかと思う。それほどに人件費は高いのである。

3. 水道料・下水道料の料金体系

この2年間の我が家の水道使用量は、節水型洗濯機に切り替えたことで10立方メートルほど節水となった。加えて洗濯には前の晩の風呂の残り湯を使用している。更に残った湯はカメに溜め、園芸用や打ち水に使っている。大きな水槽でメダカを飼っているが、水換え時には、やはり風呂の残り湯同様、カメに取って再利用している。従ってかなりの量を下水道に流さずに消費していると思うのだが、この辺を勉強してみたい。

4. 環境対策

「水道事業中長期マスタープラン」の中で、新潟市は平地が多いので、配水などに膨大な電力を消費していて、太陽光発電の導入を検討中とある。水道局には浄水施設など非常に広大な面積がある。これを有効利用することで太陽光・風力などクリーンエネルギー利用の電力が生産可能であると思う。また、水の流れの中で事業を行っているわけなので、効率的な水力発電導入の検討もいかなものか。ちなみに我が家は4.5Kwの太陽光発電パネルをのせている。

5. 広報費

私個人の意見としては、広報、特に活字媒体での広報は極限まで削減しインターネットに重きを置いた広報にしてゆくべきと思う。

オープンに情報をインターネット上にUPすれば知りたい情報が常に入手可能となり活字での印刷は不要と考える。

「飲み水が安全」であると同様「経営も透明」であれば市民との信頼関係はゆるぎないものになるはずと考える。

私の応募の動機は水に対する感謝と、水が私の家までどのように安全・安心で給水されているかを勉強したいというものである。7/18当日水道局に向かう途中かなりの雨が降っていた。この雨がいくつかの行程を踏んで私たちの会社・家へ給水されているのだなあとと思った。

説明会での話は丁寧に職員が説明し、大体わかり勉強になった。取水場、浄水場、安定供給、震災に備えて水の安全管理、水道のあゆみ、マスタープラン、にいがたの水道、政令指定都市水道料金比較、有収率比較と家に帰り家内にも水道局はこういう仕事をしているのだと話した。

又、後日新潟日報で委嘱式の記事が書いてあった。

説明会に参加して、日頃わからなかった水道のしくみや水道局の事業など、いろいろなことを知ることができ、とても勉強になりよかった。これからのモニター活動を通じて施設見学会など直接見る機会もあり、水道に対する理解を深めていきたい。

日本は蛇口をひねると、そのままおいしい水が飲料水として飲める、海外では考えられないことである。

安全・安心して利用している。海外では水を買ってガソリンより高い料金を支払っているところもあると聞く。自然を大切に、環境問題と水はとても大事なことである。

県外から来た知人は、新潟の水のおいしさに驚いている。水のペットボトルを美味しく飲んだ。

日常的に水道は使用しているが、水道から水が出ることが当たり前すぎて、蛇口の向こう側の人々や水道行政への関心は高くはなかった。そこで、先日の話の中から、関心をもった数点を中心にレポートする。

1. 料金徴収を1ヶ月毎に行うという話題について。

2ヶ月のままでいいと思う。理由は、事務処理が増えたりして賃金や運用コスト上がるから。さらに金融機関の振替手数料も増えるのではないかな。さらに、事務手続きの増加、伝票類の増加等で環境負荷も大きくなる。下水道料金2ヶ月分と水道料金2ヶ月分で、計4ヶ月分だから市民が料金を高く感じるのでは、1ヶ月毎にして「見せ掛けの料金低下」をしたところで、水道を利用する市民の金銭的負担が増加し、温暖化ガスも増加するのではないかな。まずは、2ヶ月徴収の利点や下水道料金の合算処理の合理性を市民に丁寧に説明や広報してはどうか。それでも1ヶ月毎の徴収を選択する市民には、そ

れによって生じるコストを負担してもらおう。従来のコストや環境への負荷の小さい、2ヶ月徴収を選択する市民に負担を掛けない制度にしてほしい。

2 水道局は独立採算制

水道局は民間企業のように事業を営み、独立採算制で税金の無駄使いをしていない事を素晴らしいと思った。これまで、てっきり県立病院のように赤字がでれば、本体である自治体の方から税金によって赤字補填され、「お役人様天国」の機関かなと想像していた。市民にもっと新潟市水道局は電気やガスの民間供給者のように、独立採算制のもとで企業感覚をもって一生懸命やっていることをPRしてください。そしてどこかの市役所のように、天下りと現役職員による官製談合で有罪の人など出さないように、これからも水道局はキレイな水道水のようにあってほしい。

3 新潟のおいしい水道水「柳都物語」

「柳都物語」は災害備蓄用や水道事業の広報用として製造しているそうだが、一般販売して儲けたらどうか。これがヒットすれば水道料金や新潟の知名度や観光に役立つとって市民を味方にしよう。ラベルの萬代橋と柳の絵もいい感じだし売れる予感がする。お話にあったように、その辺のペットボトルは食品衛生法だが、新潟の水はそれより厳しい水道法の水質基準をクリアしたことを売りにしてはどうか。外国から高いお水をわざわざ買わなくても、新潟にはおいしい越の寒梅にもなる水があると宣伝しよう。東京にある新潟の物産館（ネスパス）や、新潟駅でお試し販売をしてみたらどうか。うまくいきそうだったらペットボトルに広告を募集してもいいかもしれない。また販売に伴う業務の増加やリスク回避のために、民間に販売権を貸し出し、販売を代行してもらい利益を得てもいいかもしれない。

水道事業概要説明

大型合併により13ヶ所の浄水場が6ヶ所になるとのことだが、それに伴って遠隔操作等の整備をし、一部外部委託をすること等により大幅な人件費が削減可能ではないか。

水道使用量が減少傾向にあるとのお話だが、各家庭でも省エネを凶っていると思われる。（節水コマ、雨水マスの設置等々）料金の値上げがないか心配である。

沢山資料をいただいたが、あの場で読み切れず、質問もできない。事前に渡すことが不可能なら、机の上に置いておけば来た人から読める。次回よりそのようにお願いしたい。

新潟市の水道がどこよりも安く、安全に量も豊富であることに感動した。

皆々様の努力に感謝する。市報でPRなさったらどうか、モニターになるまで知らなかった。

地震に強い水道管、NHKで中越沖の時のものを見た。結局、部分部分強くし

でも無駄だったのだ。全部よくすれば金と時が必要である。“新旧地震”の経験者として、「水は代替」がなく一番困った。ジュースでご飯を炊いた覚えがある。できるだけ早く水を通す方策を作っておいてほしい。

普段、子育て真っ最中の私が、水道のことについて深く考えたことは正直なところなかったが、モニターとして参加したことによって、自分なりに考える時間が増えた。

家族とも、水道が出来るまでのしくみや水の美味しさについて、水道料金について一緒に話し合う機会がもてて本当によかった。

又、こども向けの水太郎の「にいがたの水道」の本は、大人にもとても分かりやすく、編集もすばらしいと思った。

今後もさらに知識を深めて頑張りたいと思う。

水道局は税金を使っていない独立採算制で民間企業と同じ会計処理をしているということに驚いた。この事は知らない人が多いのではないかと思う。

水道水を沢山使えば儲かり、様々な理由から収入が減っているということ。浄水場が統合される予定もあるということで、健全な経営という視点と時代の流れからはそうなるのかなという思いとなんだかさみしいような気もした。

学校の水がおいしくない理由も興味深いものだった。

有収率が高いことは、誇らしいことだと思った。有収率はなぜ高いのか。

飲んでみたかった“柳都物語”のペットボトルの水を持ち帰り、親子で試飲した。“まさに水道水だね”という意見だった。“おいしい”というわけではないが、“悪くない味”と感じた。有意義な会でした。ありがとうございました。

18年度 有収率比較表について

- ・新潟市93.3%、残りの6.7%の理由は水道管が漏れていると考えられるためか、又災害等でこわされた等なのか。
- ・県内の市町村別の比較一覧表はあるのか。